

平成15年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2217
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	配水管維持管理事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	送・配水管について
手 段	施設（管路・弁篋・水管橋。舗装等）の維持管理をすることにより
想定する成果	安定給水に努める

③事業の概要

（千円）

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
主な事業	本管漏水修繕 15件 4,593 施設修繕 29件 8,235 その他修繕 6件 6,105	本管漏水修繕 12件 3,954 施設修繕 48件 8,376 その他修繕 9件 7,584	本管漏水修繕 20件 6,500 施設修繕 50件 9,100 その他修繕 10件 7,500

④成果指標

①

②

成果指標名	漏水発生件数	有収率
成果指標の説明	本管漏水＋給水管漏水	有収水量／配水量×100

⑤事業の進捗状況

（水道企業会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	55件
	実績	56件	54件	—
成果指標 ②	計画	—	—	94.0%
	実績	95.8%	95.4%	—
事業費	事業費	19,059	20,040	23,226
	人件費	14,460	14,204	14,617
	(人数)	1.75人	1.75人	1.75人
	合計	33,519	34,244	37,843
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	33,519	34,244	37,843

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	維持管理費であり良好に管理されている。
経済効率性	3	3	事業としては必要であるが、漏水事故件数を減らすことによりコストの低減が図れる。
事務効率性	2	2	漏水等突発的に発生する事務により、計画的に事務が進められない場合あり。
必 要 性	3	3	安定給水には、不可欠な事業である。
小 計	11 /12 満点中	11 /12 満点中	
市民参加度	3	3	道路状況等（漏水・路面状況）の不良通報等により、事故発見がなされている。
合 計	14 /15 満点中	14 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成15年度より、道路内の水道施設修繕を年度当初に入札により業者を決定し、市民の苦情に即応できる体制にした。

⑧今後改善すべき点

公安委員会に対する作業届等の事務手続きの簡素化を働きかけたい。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2217
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	受託事業
根拠法令等		A 法令 B 条例 C 規則 D その他 E なし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	他事業者のために
手 段	その推進する事業に伴う支障移転の依頼を受け、布設替えをすることで
想定する成果	他事業の促進が図られつつ、管路の更新がなされ漏水防止につながる。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
実施件数	8 件	4 件	5 件
布設替延長	346m	999m	420m
管路延長	589, 148m	592, 951m	597, 076m

④成果指標

成果指標名	① 更新率	② 事業率
成果指標の説明	布設替延長／管路延長×100	事業費／予算額×100

⑤事業の進捗状況 （ 水道企業会計 ） （千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	0. 7%
	実績	0. 6%	1. 7%	—
成果指標 ②	計画	—	—	1. 9%
	実績	1. 1%	1. 6%	—
事業費	事業費	14, 371	20, 851	27, 640
	人件費	3, 718	4, 464	4, 594
	(人数)	0. 45人	0. 55人	0. 55人
	合計	18, 089	25, 315	32, 234
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	受託収益	15, 322	22, 098	29, 308
	一般財源	2, 767	3, 217	2, 926

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	依頼者の事業計画どおり進捗している。
経済効率性	3	3	直接工事費及び事務費を受託時の収益収入としている。
事務効率性	3	3	専門的な知識が必要である。
必 要 性	3	3	水道事業としてはメリットの少ない事業であるが、依頼事業者としては重要な事業である。
小 計	12 /12 満点中	12 /12 満点中	
市民参加度	1	1	水道事業者としては市民参加は少ない事業である。
合 計	13 /15 満点中	13 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

鋳鉄管φ150mm以上の送・配水管については、地震に強く離脱しにくい耐震継手の採用により、地震対策に万全を期している。
 管路番号（新規）表示を都計図番号から西暦に変更し、図面間での重複番号表示の解消を図った。

⑧今後改善すべき点

依頼事業者との計画、施工時期、工法等の事務打ち合わせを十分する必要がある。
 鋳鉄直管のモルタルライニング管から粉体ライニング管に変更することにより、水質の保持と通水時の洗管水量及び現場作業の軽減を図る。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	給水管理事業				
根拠法令等	水道法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	給水申込者からの申請（新規・改造）及び開閉栓の依頼を受け
手 段	申請書の審査、許可及び施設の完了検査をし、量水器取付取外しをして
想定する成果	申込者からの給水開始及び休止に対応する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
新規、改造申請件数	777件	830件	800件
開、閉栓件数	3,383件	3,501件	3,500件
給水装置件数	29,415件	29,913件	30,006件

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	給水申請率 申請件数／給水装置件数×100	開閉栓取扱率 開閉栓件数／給水装置件数×100

⑤事業の進捗状況（水道企業会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	2.7%
	実績	2.6%	2.8%	—
成果指標 ②	計画	—	—	11.7%
	実績	11.5%	11.7%	—
事業費	事業費	310	307	307
	人件費	35,530	34,497	35,500
	(人数)	4.30	4.25	4.25
	合計	35,840	34,804	35,807
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	35,840	34,804	35,807

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	給水申込処理はほぼ達成、開閉栓は全件数処理している。
経済効率性	3	3	開閉栓受付の外部委託を検討の必要がある。
事務効率性	2	2	申し込み件数により事業量が変動する。
必 要 性	3	2	水道事業においては重要な事業であり、給水開始するには必要である。
小 計	10 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	3	3	全て市民からの要望事業である。
合 計	13 /15 満点中	12 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	申込者からの要望に、十分対応している。
------	---	---	---------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成15年度に上水道施設管理システムを導入して図面検索が可能になり調査、確認が平易で迅速化した。

⑧今後改善すべき点

閉栓時、メーター撤去後の両側給水管端部処理の改善を検討。
開閉栓業務の休日、時間外の実施について検討。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2217
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	配水管整備事業（他課関連工事）				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	送・配水管について
手 段	都市計画事業が進捗することにより、道路整備が図られ水道管を布設することで
想定する成果	配水管網の整備が進み、安定給水が図れる

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
新設	10件 延長 L= 833m	15件 延長 L=2,774m	6件 延長 L= 890m
布設替	3件 延長 L= 68m	10件 延長 L= 175m	—
管路延長	延長 L=589,148m	延長 L=592,951m	延長 L=597,076m

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	整備率① 配管延長／管路延長×100	整備率② 事業費／予算額×100

⑤事業の進捗状況（水道企業会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	0.15%
	実績	0.15%	0.50%	—
成果指標 ②	計画	—	—	12.4%
	実績	13.0%	31.4%	—
事業費	事業費	38,985	131,775	60,649
	人件費	5,784	7,711	7,935
	(人数)	0.70人	0.95人	0.95人
	合計	44,769	139,486	68,584
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	44,769	139,486	68,584

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	新設及び改良道路への埋設計画どおり進捗している
経済効率性	3	3	浅埋設を採用し土工事費の節減を図っている
事務効率性	3	3	専門的な知識が必要である
必 要 性	3	3	道路計画の進捗に伴う開発区域内の安定給水に努める
小 計	12 /12 満点中	12 /12 満点中	
市民参加度	1	1	市民からの将来要望（給水申込）をふまえて、埋設計画を立て事業を進める
合 計	13 /15 満点中	13 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

铸铁管φ150mm以上の送・配水管については、地震に強く離脱しにくい耐震継手の採用により、地震対策に万全を期している。
管路番号（新規）表示を都計図番号から西暦に変更し、図面間での重複番号表示の解消を図った。

⑧今後改善すべき点

铸铁直管のモルタルライニング管から粉体ライニング管に変更することにより、水質の保持と通水時の洗管水量及び現場作業の軽減を図る。

⑨平成17年度予算に反映する項目

他課負担工事との競合部分については、合算経費方式を採用し経費の節減をはかる。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2213
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	配水場施設改良事業				
根拠法令等	水道法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	配水場施設
手 段	改良事業をすることにより
想定する成果	耐震化に対応しつつ、安定給水に努める

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
主な事業	残留塩素計取替工事 1,260	南山配水場増設設計委託12,482	配水場築造工事 120,000
	加圧ポンプ 取替工事 596	流出弁改良工事 8,610	遠方監視装置増設工事 35,300
	次亜塩貯留槽取替工事 3,255	蓄電池取替工事 5,250	配水場耐震化予備診断 6,000

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	老朽化・耐震化改良工事進捗率	
	年度計画 / 総事業費(282,708千円)	

⑤事業の進捗状況 （水道企業会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	58.8%
	実績	2.5%	10.3%	-
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	5,125	26,367	161,325
	人件費	2,065	2,840	5,011
	(人数)	0.25	0.35	0.60
	合計	7,190	29,207	166,336
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,190	29,207	166,336

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	老朽化施設・耐震化の改良事業に目標どおりに進んでいる
経済効率性	2	2	老朽化・耐震化対策のため、費用効率は上がらない。
事務効率性	2	2	専門的知識が必要になる
必 要 性	3	3	老朽化施設・耐震化の改良事業は必要である
小 計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

老朽化した施設を改良工事を施工しつつ、平成15年度から耐震対策を加え実施してきた。

⑧今後改善すべき点

老朽化・耐震化計画を策定し、年次的に実施していきたい。

⑨平成17年度予算に反映する項目

平成16年度配水池耐震予備診断を受けて、配水池の耐震化計画を作成し平成17年度実施分の予算要求していきたい。
--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載